

SNS 利用ガイドライン

[1] はじめに

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）は、友人との交流や情報共有に役立つ便利なツールです。一方で、不用意な発信が思わぬトラブルや犯罪被害、さらには将来の進路に深刻な影響を及ぼすこともあります。本ガイドラインは、生徒のみなさんが社会の一員としての自覚を持ち、安全で責任ある SNS 利用を行うための指針です。

[2] 基本的な考え方

- ・ 現実社会と同様の責任：SNS 上での行動は、現実社会での行動と同じく責任を伴います。画面の向こうには生身の人間がいることを常に意識してください。
- ・ 情報の拡散性と永続性：一度投稿した内容は瞬時に拡散され、完全に消去することはほぼ不可能です（デジタル・タトゥーと呼ばれます）。
- ・ 他者の尊重：相手の立場や気持ちを考え、人権を尊重した利用を心がけましょう。

[3] 個人情報の取り扱い

- ・ 氏名、住所、電話番号、学校名、学年・クラスなど、個人が特定される情報は公開しないでください。
- ・ 自分だけでなく、友人や家族の個人情報を本人の許可なく投稿してはいけません。
- ・ 写真の背景や反射物、位置情報（ジオタグ）から自宅や所在地が特定されるリスクに注意し、必要に応じて設定をオフにしてください。

[4] 写真・動画の投稿と著作権

- ・ 肖像権の保護：他人が写っている場合は、必ず本人の同意を得てから投稿してください。
- ・ 制服姿の投稿：制服姿は学校や個人を容易に特定させます。投稿の際は「公開範囲を限定する」「校章や建物が写らないようにする」など、細心の注意を払いましょう。迷う場合は投稿を控えてください。
- ・ 不適切コンテンツの禁止：暴力的、差別的、性的な表現や、法令に触れる公序良俗に反する内容は投稿しないでください。

[5] 誹謗中傷・いじめの防止

- ・ 他人を傷つける言葉、悪口、根拠のない噂の拡散は絶対に行わないでください。
- ・ 「冗談のつもり」であっても、受け取り次第でいじめや犯罪（名誉毀損等）になり得ることを理解しておきましょう。
- ・ SNS 上でトラブルやいじめを見かけた場合は、決して加担せず、速やかに信頼できる大人や学校に相談してください。

[6] トラブル・犯罪被害の防止

- ・ ネット上で知り合った人物からの執拗なメッセージや、会おうという誘いには応じないでください。
- ・ 金銭や個人情報、不適切な写真の送付を求められた場合は、すぐに応じず保護者や教員に相談してください。
- ・ 「闇バイト」などの「簡単に稼げる」という誘いは犯罪に直結するため、決して関わってはいけません。

[7] 学校生活における利用ルール

- ・使用制限時間の厳守：8時30分から清掃終了までは原則として使用禁止です。この時間は対面での活動や学習に集中する時間ですので、通知をオフにするなどして物理的に距離を置く習慣をつけましょう。
- ・場所によるマナー：
 - 廊下：通行の妨げや歩きスマホによる事故防止のため、廊下での使用は一切禁止します。
 - 図書館：集中して読書や学習をする公共の場ですので、スマートフォンの使用は禁止です。
 - 昼休みの教室：利用可能ですが、節度を守り、他人のプライバシーを侵害しないよう注意してください。
- ・学習目的での例外利用：Chromebookの不備などで教員が許可した場合に限り、スマートフォンを学習道具として使用できることがあります。ただし、これはあくまで代替としての許可であり、その場でのSNS利用や私的なメッセージ交換を認めるものではありません。
- ・ルールの遵守と責任：ルールが守られない状況が続けば、学校全体の利便性が損なわれるだけでなく、生徒自身の自律性が疑われることになります。一人ひとりが「今、何のためにスマートフォンを手をしているか」を自問自答してください。

[8] 困ったときの相談

- ・トラブルに巻き込まれたり、不安を感じたりした場合は、一人で抱え込まず、保護者、教員、スクールカウンセラーなどに相談してください。
- ・悪質な嫌がらせに対しては、スクリーンショットなどで証拠を残し、各SNSの通報機能やブロック機能を活用しましょう。

[9] おわりに

SNSは、正しく使えば世界を広げる素晴らしい道具です。県立高校の生徒として、デジタル市民権（デジタル・シティズンシップ）を意識し、自分と周囲の人々を守る賢明な選択を心がけてください。